

JESCO 豊田PCB廃棄物処理 事業だより(No.129)

1. 新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

当施設は、国の計画に基づき平成17年9月に操業を開始してから10年目に入っており、今までに処理対象エリア内の約6割のPCB廃棄物の処理を実施しました。PCB廃棄物処理の完遂に向けては、平成26年6月に国の基本計画が変更され、当施設も新しい処理体制の下で臨むこととなりました。今後も、安全で確実な処理の確保を前提に、高濃度PCB廃棄物の処理をできるだけ早期に終了できるよう、さらに努力してまいります。

また、平成26年12月に当社の根拠法が改正され、国が行う中間貯蔵に係る事業等を、国等の委託を受けて行うことになり、それに伴い、会社及び事業所の名称等の変更を行いました。なお、中間貯蔵事業は福島県内で行われるものであり、当施設で行っているPCB廃棄物処理事業とは、完全に切り離して実施され、当施設が関与することはございません。

本年も、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成27年1月

豊田PCB処理事業所長 石垣喜代志

2. 交通安全街頭活動を行いました

豊田市の「年末の交通安全市民運動」の一環として、昨年12月1日に開催された「全市一斉交通安全街頭活動」に参加しました。

当施設からはJESCO、運転管理会社の社員約30名がのぼりやタスキ、ハンドサインを持ち、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。



3. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況のご報告

平成26年10月から12月までの処理実績は右表のとおりです。

引き続き、安全かつ確実に処理を継続してまいります。

26年10～12月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		1,305 台
トランス類	大 型	22 台※
	小 型	9 台
	車 載 型	12 台
廃PCB等		13 本
保管容器		43 個

※大型トランスのパーツ12台を含む

4. 施設見学のご案内

平成26年度第3四半期の施設見学者数

	10月	11月	12月	計	4～12月計
団体数	8団体	2団体	6団体	16団体	47団体
見学者数	16名	19名	53名	88名	199名

保管事業者の皆様をはじめ、行政の方々や各団体など、多くの方々に当施設をご見学いただきました。施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。

施設見学をご希望の方は下記の【豊田PCB処理事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。



PCB処理事業紹介シリーズ 第11回

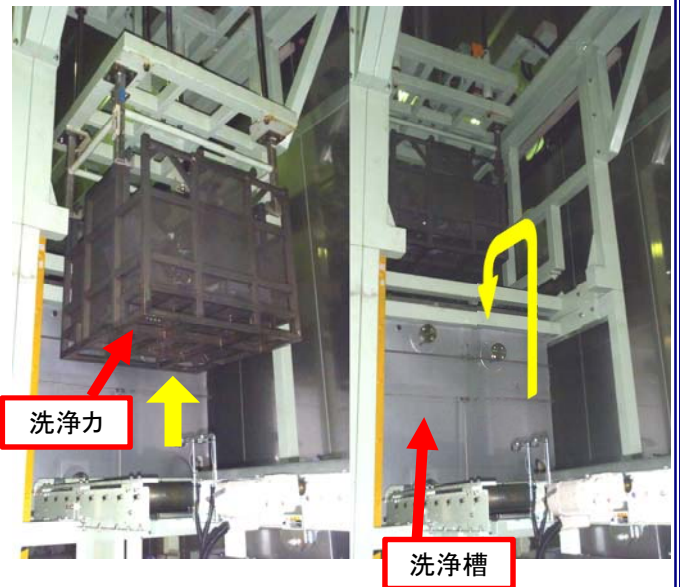
今回は非含浸物洗浄設備についてご紹介します。

非含浸物とは、容器(鉄製)・碍子(ガイシ)などPCB油が染み込まないもののことです。この非含浸物を洗浄する設備が超音波洗浄設備です。

非含浸物の洗浄工程は次の通りです。

- ①非含浸物を洗浄カゴに入れる
- ②搬送装置で洗浄カゴごと洗浄槽へ挿入する
- ③蓋をして密閉する
- ④洗浄液シャワーで洗う
- ⑤新たに洗浄液を入れ、超音波を使って洗浄する
- ⑥洗浄液シャワーで洗い流す

この洗浄工程を、第一洗浄槽から第六洗浄槽まで、洗浄カゴを順次入れ替えて6回行います。6回の洗浄後の卒業判定で合格しなかったものは、最初の洗浄槽に戻し、合格するまで洗浄を繰り返します。



デジ丸

問い合わせ先



アザランのピーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO) 豊田PCB処理事業所 0565-25-3110

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>